

国際会議から 第4回鉄道技術に関する国際会議 (Railways 2018)

本国際会議は、土木・建築および軌道、車両、空力、電気など鉄道技術に全般に関する会議で、2012年から2年に1回開催されており、今回で4回目となります。鉄道総研からも構造物および軌道の研究者を中心とし、10名以上の研究者が参加しました。本国際会議は今回はじめて第8回STECH2018と共同開催となっています。筆者は列車走行時の付帯構造物の振動に関する発表を行いました。

会議では、常時5つから7つの発表が行われており、全体では460件を超える発表がありました。著者の発表に対しては、ノルウェーやスウェーデンなどの研究者から風荷重や雪荷重についての質疑応答がありました(図1)。また、筆者の専門である橋りょう振動分野に関して、欧州の著名な研究者が参加していたため、発表だけでなくミラノ工科大、スウェーデン王立科学研究所およびポルト大学の研究者と打ち合わせを行い、有意義にすごすことができました。

開催都市のシツェスはバルセロナから電車で40分程度です。スペイン南部の地中海に面しており、温暖でリゾート地としてにぎわっていました。駅から会場までは徒歩で20分程度かかるため、毎日汗をかいて会議に参加しました。



松岡弘大  
鉄道力学研究部  
構造力学研究室  
副主任研究員



図1 筆者の発表の様子



図2 駅から会場までの風景

正式名称：Fourth International Conference on  
Railway Technology : Research,  
Development and Maintenance  
開催国：スペイン(シツェス)  
期間：2018/9/3-7  
主催：Elsevier  
開催頻度：2年に1回  
次回開催予定：2020年9月 日本  
ホームページURL：  
<http://www.railwaysconference.com/>